

源吾ネギ

1. 解説

本種は、須賀川市を中心に中通り中部で広く栽培されているネギである。

福島県農業誌によると、昭和3年（1928年）頃須賀川市前田川の安藤源吾氏が藍黒一本太ネギ（千住黒柄）から風土に適した品種として改良したものである。

前年秋に播種したものを4月に移植し、これを8月に堀上げて苗を斜めに植える「やとい」という作業により曲がりネギとしている。

柔らかく食味が良いと評価されているが、一般の直ネギより栽培に手間がかかることや、独特の曲がった状態での荷姿が流通時に取り扱いにくいこと等から消費が伸びず、生産は減少している。

2. 写真



源吾（左）と東京夏黒（右：一般品種）



輪切りした状態



輪切りした状態



源吾ネギの荷姿

3. 遺伝資源の栽培および保存状況

- ・種子は須賀川市や郡山市の種苗店から「新源吾」の品種名で販売されている。